

経済産業部 琉球エステ・スパセミナーを開催

経済産業部が推進する「OKINAWA型産業振興プロジェクト」の健康関連産業分野では、これまで参画している健康食品関係企業に加え、保養、医療分野に対象を拡大した、沖縄健康産業クラスター形成に取り組んでいます。

プロジェクトではこの保養分野において、特にエステ・スパが沖縄の健康長寿と観光産業を支える重要なサービスであるとの認識に基づき、顧客満足度が高く安全で安心、かつ沖縄らしいエステ・スパのあり方を検討しブランド化を図ることを目的に、このたび「琉球エステ・スパ研究会」を発足しました。この発足を記念し、去る9月25日に那覇市内のホテルにおいて「第1回琉球エステ・スパセミナー～沖縄健康産業におけるエステ・スパの可能性～」を開催しました。

講演会では、研究会の山川杉乃氏より、ブランド化に向けたガイドラインの作成や沖縄の産業まつりへの出展事業など、研究会の今後の取組について説明を行いました。また琉球大学の平良教授より、沖縄健康産業クラスター形成に向けたこれまでの取組について紹介しました。特別講演では日本エステティック協会理事の島上和則氏より、国内外のスパトレンドについて紹介しながら、沖縄のエステ・スパ産業の有望性を挙げ、今後は沖縄の特徴を活かしながらどうアジアと差別化を図ることが重要との提案がありました。



運輸部 平成18年 船員労働安全衛生月間の実施

陸上労働者に比べて発生率の高い船員の災害や、疾病（特に近年割合が高くなっている生活習慣病）の防止について、船舶所有者及び船員の意識を高めようと、9月を船員労働安全衛生月間とし、各種の行事を展開しました。



まず、9月1日（金）に沖縄県水産会館において船員、船舶所有者、関係機関等多数の参加のもと船員災害防止大会が開かれ、心を新たにして、船員の災害の絶無と健康の維持を目指した日々の活動を推進していくことをとする大会宣言がなされました。

この後、「生活習慣病をめぐって」の演題で沖縄産業保健推進センター産業保健相談員川平昌秀氏による特別講演が行われました。

このほか、会場には、作業用救命衣、安全靴、救命浮環等、船員の保護具の展示場も開設され、年々機能が増している保護具に参加者らの関心が集まりました。

また、月間中は、訪船指導員が、県内各港に停泊中の船舶を訪れ、海中転落事故を防ぐための舷梯（岸壁と船舶を結ぶ梯子）の設置状況、飲用水の水質等、数十の項目についての点検指導を行いました。

財務部 金融庁業務説明会開催

去る9月26日、金融行政に対する理解を深めてもらうことを目的に、メルパルク沖縄において当部主催による「金融庁業務説明会」が開催され、金融・保険・証券業界などから約100名の方々が出席されました。

第一部では、金融庁総務企画局の谷口審議官から、「金融行政と地域金融を巡る動向」と題して、地域密着型金融の推進のためには、事業再生・中小企業金融の円滑化、利用者の保護・利便性向上に引き続き取り組んでいくことが、将来の望ましい金融システムには重要であるとの説明がありました。続いて第二部では、同局市場課の平下専門官から、平成18年6月に成立した「金融商品取引法」の主な改正点について、具体的な説明がありました。

また、その後地元金融機関トップとの意見交換会も開かれ、「地域密着型金融」、「金融検査評定制度」などについて意見が交わされました。



運輸部 「2006自動車点検整備推進運動」の実施

自動車使用者の皆様には、自動車の不具合による交通事故や公害の防止を図る必要から、適切な保守管理及び点検・整備の実施が義務付けられています。

運輸部では、自動車使用者の皆様に自動車の点検・整備を確実に実施して頂くため、本年9月から10月までの2ヶ月間を自動車点検整備推進強化月間として関係機関及び関係団体の協力のもと「自動車点検整備推進運動」を実施しました。

本運動を効果的に実施するため、期間中に整備管理者研修を集中的に開催し、全8回、合計789名の整備管理者及びこれから整備管理者になる者に本運動のチラシを配布して点検・整備の大切さや重要性を説明して確実な実施を呼びかけました。

「人と車と環境との調和のとれた車社会」を形成するためには、自動車の使用者一人一人が自己の責任において、常に自動車の保守管理を確実に実施することが大切です。

今後も、自動車使用者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

